

岐阜工業高等専門学校

第11号(平成18年12月20日発行)

編集：教育後援会事務局

教育後援会通信「ちから」



けやき並木（校舎西）



岐阜地区懇談会(機械工学科分科会)

地区懇談会に参加して

教育後援会副会長 吉本敏彦



1月に開催された地区役員懇談会にたまたま出席したことがきっかけで、教育後援会の役をさせていただいています。私が役を引き受けたのは、「遠隔地の保護者の声を教育後援会の活動に取り入れたい。」という前会長のお話に共感したからです。実際には、高山市から高専までは距離のハンディがあり、なかなか積極的な参加ができず事務局はじめ他の役員の皆さんにご迷惑をかけております。しかし、これからも遠隔地の保護者の立場から、皆さんの声を届けていきたいと思っておりますので、宜しくお願いします。今回役員として初めて、恵那市で開催された「東濃地区の懇談会」に参加させていただきました。懇談会には多数の保護者の方に出席をいただき、大変ありがとうございました。東濃地区は飛騨地区と同じように遠隔

地なので、保護者の皆さんの話も共感できる内容がたくさんありました。

低学年の保護者からは「だんだん生活に慣れて、連絡が無くなってきた。」というような話や、日常の生活について色々な質問がありました。それに対して、学校側から丁寧な回答をいただき、子どもたちが元気で逞しく成長している様子を聞けたので、質問された方だけでなく、その場に出席していた全員の方に一緒に安心していただけたように感じました。

高学年の保護者からは、就職・進学等についての質問が出されました。色々な進路がある中で、どのような心構えが必要か、今までの経験の中で良かった点、悪かった点等を率直に話ししていただけたので、大変参考になったと思います。

子どもたちと離れて暮らしているので、どのような生活をしているのかなかなかつかめない中で、様子を知ることができた大変有意義な懇談会であったと感じました。私の卒業したころとは違い卒業後の進路選択肢も増えている今は、工学系を目指す子どもにとって、高専は受験のための勉強に追われず、有意義な青春時代を送ることのできる良い環境だと思います。今後とも岐阜高専が活力ある活動が続けられることができるよう、微力ではありますが、支援していきたいと思っております。

学 校 は 今

—中小企業人材育成事業の展開—

機械工学科助教授 石丸 和博

岐阜高専は、(財)岐阜県産業経済振興センターの申請により、経済産業省中小企業庁の平成18年度の新規事業である「高等専門学校等を活用した中小企業人材育成事業」に採択されました。これは、高等専門学校等の有する設備を活用し、高専等の教授やベテラン技術者等の協力の下、地域の中小企業のニーズに応じた講義と実習を実施することで中小企業の若手技術者育成を支援する事業であり、教育界と産業界の協力を得ながら推進することになった人材施策の一つに位置づけられるものです。

採択された事業テーマ名は「岐阜県の金型・精密機械加工関連の中小企業を対象とした若手技術者の育成事業」です。そこで今年度は主に岐阜高専スタッフが中心となって、岐阜県の産業構造上重要な役割を担っている、金型・精密機械加工関連中小企業の国内外における競争力を維持し続けていくために必要不可欠な若手人材を育成することを目的に、「『金型・精密加工』関連企業若手リーダー育成セミナー」を開催することになりました。期間は平成18年9月から平成19年1月であり、「CAD・設計」「金属・加工学」「切削加工」「CAM」「計測法・品質管理入門」「金型製作基本」の6つのコースを開設することで、加工精度の向上及び自発的思考ができる機械技術者となるために必要な基礎知識の習得を目指します。

今後も岐阜高専は、このような事業等を通してながら地域の発展に寄与できる地域に根ざした学校を目指してまいります。

地区別保護者懇談会へのお誘い

11月2日の高山地区を始めとして地区別懇談会が開催されました。

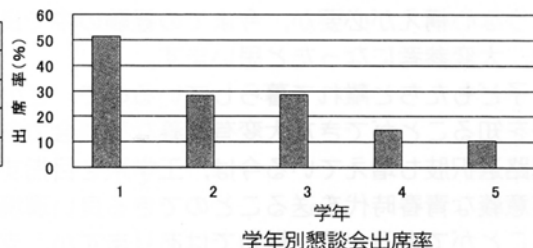
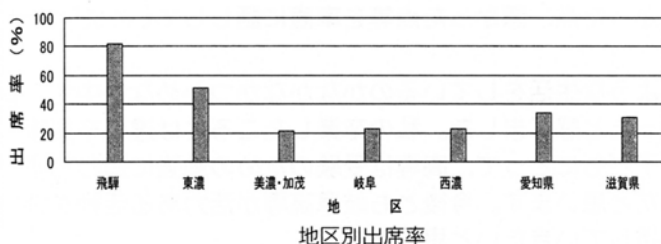
地区役員の方々には開催にご協力いただきお礼申し上げます。申し込みの段階で、前年度より、出席希望者がおよそ30名増加しました。

地区懇は、学級個別懇談と異なり、同じ話題について話し合ったり、岐阜高専の校長、副校長、課長の話を直接伺うことができます。1人で悩んでいたことが、以外に共通な悩みで、安心した保護者もおられたと思います。

出席率を図1と図2に示しました。1年生の保護者の出席率は高く、新しい環境の下での学生生活に不安があるためでしょう。地区では、高山地区の出席率の高さが際立っております。

来年度は、ご夫婦で参加されるとよいですね。

(事務局長 橋浦正史)

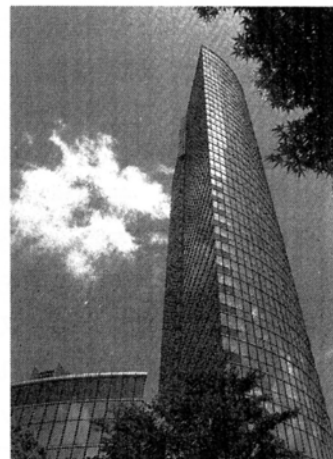


教育後援会行事予定

- 4月5日(木) 教育後援会説明会(第一体育館) 10:00～
 22日(日) 教育後援会役員会 10:30～13:00(後日連絡致します。)
 5月13日(日) 教育後援会総会(図書館センター多目的ホール) 13:30～14:30

主な学校行事

- 1月9日(火) 開講
 13日(土) 寮生スキー研修(めいほうスキー場)
 21日(日) 第40回吹奏楽部定期演奏会(羽島文化センター13:00～) 入場無料
 2月2日(金)～8日(木) 後期期末試験(第5学年)
 16日(金)～26日(月) " (第1～4学年)
 19日(月)～21日(水) 補講(第5学年)
 27日(火)～3月7日(水) フォローアップ授業・補講・補習期間(第1～4学年)
 3月3日(土) 寮生部屋替
 6日(火) 平成19年度研究生校長面接
 8日(木) 閉寮11:00
 8日(木)～16日(金) 休講
 14日(水) 入学・入寮予定者オリエンテーション
 16日(金) 第40回卒業式 第11回修了式
 19日(月) 閉講
 20日(火) 学年末休業始
 31日(土) 学年末休業終、後期終、学年終
 4月1日(日) 学年始、前期始、春季休業始、
 4日(水) 春季休業終、開寮13:00
 5日(木) 第45回入学式9:20～、入寮式、学級懇談会
 9日(月) 開講



大津プリンスホテル37階
保護者見学会 昼食会場

保護者見学会に参加して

—三度目の見学会に参加して—

5年 保護者

過日、6月16日に三度目の見学会に参加させていただきました。

今年は草津市滋賀県立琵琶湖博物館と井筒ハッ橋本舗に足を運びました。昨年の見学先(ソフトピアジャパン・イタリア村)とは少し異なり、博物館では琵琶湖のおいたち・人と琵琶湖の歴史・湖と環境と人々の暮らし・湖の生き物等の展示物を足元軽く目をキョロキョロさせながら、幼少時代を振り返り、懐かしく思い出しながら見学しました。

また、目的地に着くまでの車中では、各学科の先生方から「今の学生は?学校は?学生の就職、進学状況について」お話を聞き、保護者からの質問等に答えていただきました。

見学会に参加するにあたり、諸先生方に、かしこまらず気軽に何でも尋ねられたこと、親同士で語り合うことができて、とても有意義な日となりました。

今回で見学会に参加させていただくのが最後になりました。まだ一度も参加してみえない保護者の方々は、是非参加されてはいかがでしょうか?保護者会役員、先生方、ありがとうございました。

インターンシップへの心構え

研究主事 河村 隆雄

本年4月、岐阜県にインターンシップ推進協議会が発足し、本校の夏季実習や専攻科の特別実習についても実習先を紹介していただけることになりました。これにより受入先確保の労力が大きく軽減され、多数の学生が有意義なインターンシップに参加できるようになり、今年を対象学生223名中174名の学生がインターンシップに参加しました。11月17日には本校の多目的ホールにて、県下大学や企業等から多数の参加を得てインターンシップ成果発表会が開催され、本校学生3名もしっかりとした発表をしました。

インターンシップの主たる目的は、企業等における就業を体験して生の企業や社会を実感し、これを通して、働くことの意味や自己の適性について客観的に分析し、社会人としての倫理感や責任感を伴った職業観を形成することにあります。さらに、自分に適したキャリアを自覚し、それに合わせて勉学や課外活動、社会活動に取り組むことによって、職業能力の獲得と人格形成の促進へとつなげることができます。これらを意識することなく就職に臨むこと(例えば名前だけで就職先を決めるなど)は、早期離職、フリーター増加の一因と言われています。

企業にとってインターンシップ学生の受入れは、就職につながる保障はなく、あくまでも互いに若者を育てあうことで優れた人材を育成し、社会を活性化するためのサービスとして実施されるものです。当然、無報酬が原則であり、学生としては自己のキャリアを考えるための経験を蓄積する場と捉え、誠意を持って努力する姿勢が必要です。

なお、実社会での活動を目的とするインターンシップでは、通勤途中や実習中の事故、機器の破損や損害の発生などのリスクを伴うことを自覚し、保険に加入することを忘れないでください。さらに企業の機密事項に触れることもあるので、これには責任を持って対処する必要があります。

最後に、インターンシップは地元の優れた企業を知る機会でもあります。自己のキャリア設計に当たって地元企業についての検討も忘れないで下さい。

インターンシップに参加して

電子制御工学科4年 不破慎之介

僕がこの夏お世話になった企業はトゥ・ステップという主にITコンサルティング業務をされている会社です。研修は、基本的にはテキストを参考にして与えられた課題をこなしていくという形で行われ、研修期間の2週間のうち、前半を必要な知識を身につける期間、後半をその応用でシステムを構築する期間としました。

研修を通して学ばせていただいた事は本当にたくさんあるのですが、まず、企業で「もの」をつくる時に大事な事の一つに、その「もの」を使う人には様々なタイプがいる事を考慮するという事です。ある程度使い慣れている人もいれば全く知らずに使う人もいますし、荒っぽく使う人や適当に使う人、悪用しようとする人。そういった事をできるかぎり想定して、多くの人が使いやすく、安全なものをつくるのが実際の仕事では必要なだと学びました。また、問題が起こった時や何か新しい物をつくる時に、ほんの少しのアイデアで意外な結果が出ることもある、という事を教えていただきました。あとは、仕事はあまり根詰めずに、ある程度の息抜きをすることが大切だということです。特に僕は一つのことに熱中しすぎる性格なので、その事を忘れないようにしていきたいです。

ーバスの中で進路相談ー

4・2年 保 護 者

6月16日（金）に教育後援会保護者見学会がありました。

前日、雨が降り、天候が心配されましたが、参加された方々の心がけが良かったせいか、晴れて暑いくらいでした。

1・2号車は岐阜高専集合、3号車は大垣集合の計3台にて出発しました。

草津市滋賀県立琵琶湖博物館では、琵琶湖の歴史や昔の民家等が展示してあり、大変勉強になりました。

大津プリンスホテルでのバイキングの昼食は、37階からの景色もよく、料理の種類も豊富で、とても美味しかったです。

バスの中で自己紹介しながら、各学科の先生に質問をしたりしました。

5年生のお母さん一人一人に子供さんの進路をどのようにして決められたかを話していただきました。皆さんは子供さんの気持ちを第一に考えられたそうです。

子供の進路について大学へ編入学するのか、就職するのか、将来子供にとってどの路がいいのかわかりませんが、子供とよく話し合って決めるのがいいのかなと感じました。

私は保護者見学会を毎年楽しみにして参加しています。

各学科の先生、役員の方、各学科の保護者の方のお話を聞き、とても参考になります。それに子供の高専での様子をお聞きするのに、とても良い機会だと思います。

まだ参加されたことのない保護者の方々に、一度参加をお勧めします。

何か得るものがあると思います。

ー博物館・超高層ホテルー

1年 保護者 野 原 弘 章

去る6月16日、滋賀県立琵琶湖博物館と井筒八ッ橋本舗見学会が110名の参加者によって挙行されました。行程は岐阜高専集合の後、関ヶ原インターを経て一路琵琶湖博物館へ。琵琶湖博物館では琵琶湖の歴史や、生い立ちから環境と人々の暮らし・淡水の生き物などの展示などがなされていました。人と琵琶湖の共存と云う立場から研究発表や展示、特設コーナーなどがあり、他の博物館にはない現在進行形の博物館であるという印象を受けました。

見学の後昼食のバイキング会場である大津プリンスホテル37階へ。このホテルは1989年に丹下健三・都市・建築設計研究所+鹿島建設の設計で琵琶湖の辺に建設され、超高層38階建て137Mの半円形をモチーフとした設計となっていました。琵琶湖の俯瞰と東山を見ながらの歓談・昼食は、時間の経つのも忘れるほどでした。

おみやげを井筒八橋本舗で手にし、帰りの車中での懇談会。乗り合せた先生方からは今の卒業生の進学や就職状況・新入生の入学状況についてのお話があり、隠れた進学校とのお言葉もありました。バス1号車には高専1年生の保護者が多数乗り合せており、勉強面の不安、進級への不安、勉強の仕方、クラブ活動…etc ここ数ヶ月間で感じた共鳴できるいろいろな不安についての質問がありました。その一つ一つの質問に丁寧に又ある時は面白く回答されていた先生方に感謝申し上げますとともに、この先生方と共に、友人と切磋琢磨し、和になって成長してくれることを願っています。

今回この様な場に参加できて感謝しています。ありがとうございました。

高専ロボコン2006 東海北陸大会から 昨年到现在全国大会出場決定!!

去る10月29日（日）に沼津市体育館（開催校：沼津高専）にて東海北陸地区大会が開催されました。本校からは2チームが出場したので結果を報告します。

- ・岐阜高専Aチーム「岐阜刀」（ギフト）」ベスト4進出
- ・岐阜高専Bチーム「SaLuVoBo++」（サルボボプラスプラス）
2回戦敗退、デザイン賞、特別賞を受賞
全国大会出場校枠の推薦により全国大会出場

●地区大会出場の岐阜高専Bチームの試合概要

2回戦敗退の岐阜高専Bチームでしたが、エキシビションがありロボットの各障害物に合わせた足回り及び走行性、安定したオブジェパス、自動ロボットによる人のような縄跳びが評価され、全国大会出場校に選出されました。



▲Aチーム
「岐阜刀」（ギフト）」ベスト4進出



▲Bチーム
「SaLuVoBo++」（サルボボ）
デザイン賞、特別賞

●全国大会出場の岐阜高専Bチームの試合概要

去る11月26日（日）に東京両国国技館にて全国大会が開催されました。全国の各地区から勝ち抜いて来た、精鋭25チームが参加。各校の伝統とテーマに沿って創意工夫にアイデアを加味したロボットが熱戦を繰り広げた。

1回戦敗退の岐阜高専Bチームでしたが、敗戦インタビューでは自慢の縄跳ロボットを披露することが出来ました。また、敗戦の悔しさをバネに来年こそはのリベンジに燃える選手の姿がありました。

この模様は12月30日（土）NHK総合テレビで21時15分から放映されますので是非ご覧ください。

●編集後記

地区別懇談会は無事終了いたしました。担当されました地区理事の方々にはお世話になりました。

2007年問題もあり、新聞でも報道されましたように、岐阜高専も「精密加工と金型」の人材育成事業を行っております。後援会は学生の支援だけでなく、岐阜高専とのコーディネータとしての役割と保護者の方々の情報交換の支援を行っております。「モレラ」も歩いて行ける距離ですので、来られた時は正門近くにいます事務局に気軽にお立ち寄りください。

事務局長 橋浦正史

発行：岐阜工業高等専門学校 教育後援会事務局 TEL・FAX (058) 323-8752
〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236-2 E-mail: gnctk@yahoo.co.jp